

<腫瘍マーカーとは>

がんなどの腫瘍から作られたり、或いは腫瘍やその他の病気に対する反応として体の細胞から作られる物質です。

陽性であれば、がんの可能性はありますが、必ずがんがあるとは限りません。また、がんがあっても陽性にならないこともあります。がん以外の良性疾患でも陽性となることがあります。

数値はあくまでも参考！！

腫瘍マーカーの値が上昇するのは、一般に、体中にかんが広がっている「進行がん」の場合です。

これらの検査は病気があるかどうかのスクリーニング(ふるいわけ)です。100%病気を発見できるものではありませんので、この検査で異常がなくても、自覚症状があれば必ず医療機関を受診ください。

<新型コロナウイルス抗体検査について> 新型コロナウイルスに感染していたかどうかを調べる検査です。新型コロナウイルスワクチン接種後の中和抗体の産生を確認することができます。抗体があっても終生免疫を保証するものではありません。あくまで参考項目であることをご理解ください。

<アレルギー検査について>

アレルギー特異的IgE 抗体の測定により、アレルギー症状の原因物質(アレルギー)を調べます。

<アミノインデックス®がんスクリーニング(AICS®)について>

がん既往歴(現在治療中のがん患者の方を除く)がある方でも、AICS®が高値を示す事がある可能性をご理解いただいた上で、受診いただくことは可能です。

AICS®は、採血を行った時点でのがんである可能性を評価する検査です。生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。受診の頻度等については、医療機関の医師にご相談ください。

	希望の検査	料金(税込み)	検査	検査でわかること
肝炎ウイルス	肝炎の発見には血液中のウイルスの存在を確認することが有効とされています。			
		2,400	B型肝炎	B型肝炎ウイルスの存在と抗体価(過去に感染したことがある。または予防接種(ワクチン接種)による免疫がある)を調べます。
		1,400	C型肝炎	C型肝炎ウイルスの抗体を調べます。HCV抗体が基準値を超えている場合、検査を順次行い、「現在感染している」かどうかの判定を行います。
免疫学的検査		2,200	CRP	関節リウマチなどの自己免疫疾患の発見に役立ちます。CRPは炎症の強さを見る検査です。
			RF(リウマトイド因子)	
心臓		3,600	BNP	心臓に負担がかかっているかどうかを知ることができます。
甲状腺機能検査		5,000	甲状腺刺激ホルモン(TSH) 抗サイログロブリン抗体 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 遊離トリヨードサイロニン(FT3) 遊離サイロキシン(FT4)	甲状腺ホルモンの分泌状況を見て、甲状腺の病気の発見に役立ちます。
感染症	過去に病気に感染したり、予防接種で免疫がある場合は、基準値より数値が高くなります。			
		1,700	風疹	風疹(三日はしか)に対する抗体の量を調べます。
		4,000	麻疹(はしか)	麻疹(はしか)に対する抗体の量を調べます。
		4,000	おたふく風邪	おたふく風邪の抗体の量を調べます。
		4,000	水ぼうそう	水ぼうそう・带状疱疹の抗体の量を調べます。
	4,400	新型コロナウイルス	新型コロナウイルスの抗体の量を調べます。	
アレルギー検査		2,200	動物アレルギー	動物上皮(犬、猫)
		2,200	ハウスダスト	ハウスダスト、ヤケヒョウヒダニ
		3,300	花粉	スギ、ヒノキ、カモガヤ
		2,200	ハチ	スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ
		3,900	食物アレルギー(5項目)	卵白、牛乳、小麦、ピーナッツ、大豆
		5,500	食物アレルギー(8項目)	卵白、牛乳、小麦、ピーナッツ、大豆、ソバ、エビ、カニ

	希望の検査	料金(税込み)	検査	検査でわかること【関連する腫瘍の部位】
リスク検査		13,200	ロックスインデックス	将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する検査です。 ※下記のいずれかに当てはまる方は正しい結果が得られない為、検査は受けられません。 ■妊娠中、出産後3ヶ月以内の方 ■風邪、関節リウマチの方
		24,200	MC Iスクリーニングプラス	認知症の前段階であるMC I(軽度認知障害)のリスクを判断する検査です。 ※下記のいずれかに当てはまる方は正しい結果が得られない為、検査は受けられません。 ■すでに認知症と診断されている方 ■自己免疫性疾患(急性期)をお持ちの方
		22,000	アミノインデックス® がんスクリーニング(AICS®) 【要予約(5営業日前)】 検査は平日の午前中のみとなります	現在がん罹患しているリスク(可能性)を予測する検査です。 ■男性AICS®(40歳~80歳):【5種】胃・肺・大腸・前立腺・膵臓 ■女性AICS®(25歳~80歳):【6種】胃・肺・大腸・乳・子宮・膵臓 ※注意事項 ■妊娠されている場合、結果に影響がありますので検査は受けられません。 ■検査前の8時間は、水以外は摂らないでください。 ■正しい検査結果を得るために、できるだけ検査当日朝の運動はお控えください。 ■薬剤のAICS®値への影響に関しては分かっておりません。 検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医へご相談の上、その指示に従ってください。 ■大型連休中においては、検査できない日があります。
胃		2,500	ピロリ菌検査	ピロリ菌の感染の有無を調べます。胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃炎の発見に役立ちます。
		2,700	ペプシノーゲン	一部の胃がんで萎縮の進んだ粘膜から発生します。この検査は胃がんの萎縮の進み具合を調べ、胃がん罹患の可能性が高いかどうかを知ることができます。
腫瘍マーカー		2,200	SCC	肺、食道、子宮
		3,000	抗P53抗体	大腸、食道、乳
		2,200	CEA	大腸・胃などの消化器、肺など
		3,300	CYFRA(シフラ)	肺
		2,900	CA19-9	すい臓・胆道・大腸・胃などの消化器
		2,200	AFP	肝臓
	2,600	男性のみ	PSA(前立腺)	前立腺
	2,900	女性のみ	CA125	卵巣